



# 毛染めによる 皮膚障害



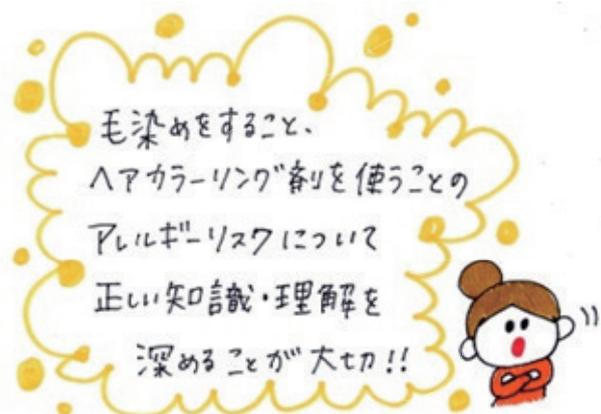
## 広く普及している反面、症例も多い「毛染め」

毛染めは、髪の色を変えたり、白髪を黒く染めたりするなど、年代や性別を問わず一般に広く行われています。毛染めによる皮膚障害を訴える声も上がっています。

毛染めによる皮膚障害の多くは接触皮膚炎で、その直接的な原因はヘアカラーリング剤。このヘアカラーリング剤の中でも酸化染毛剤は、特にアレルギー性接触皮膚炎を引き起こしやすく、このことは、理美容師や皮膚科医の間ではよく知られています。

毛染めによって起こる疾患は主に皮膚炎で、原因となる物質の作用の違いによって、アレルギー性接触皮膚炎と、非アレルギーの刺激性接触皮膚炎の2つに分かれます。また、皮膚炎だけではなく、まれにアナフィラキシーが起こることもあります。

類型	非アレルギー	アレルギー	
疾患	刺激性接触皮膚炎	アレルギー性接触皮膚炎	アナフィラキシー※1
発症条件	・ 誰にでも起こり得る ・ 皮膚の状態により起こったり起こらなかったりする	・ 感作※2が成立した人のみに生じる ・ 一旦感作が成立したら、原因物質（アレルゲン）に接触すると反応が現れる	
主な症状	痛み、かゆみ、発赤、水疱、湿潤局面が広がり次第に腫れてくるなど	じんましん、皮膚の発赤、息切れ、咳、動悸、血圧の低下、めまい、腹痛、嘔吐など	



※1 アナフィラキシーとは

アレルギー反応により、じんましんや腹痛、嘔吐など様々な症状が同時に生じ、急激に悪化していく状態のこと

※2 感作とは

生体が特定の物質に対して過剰に反応して、生体に接触・侵入した物質に対しアレルギー体質になること